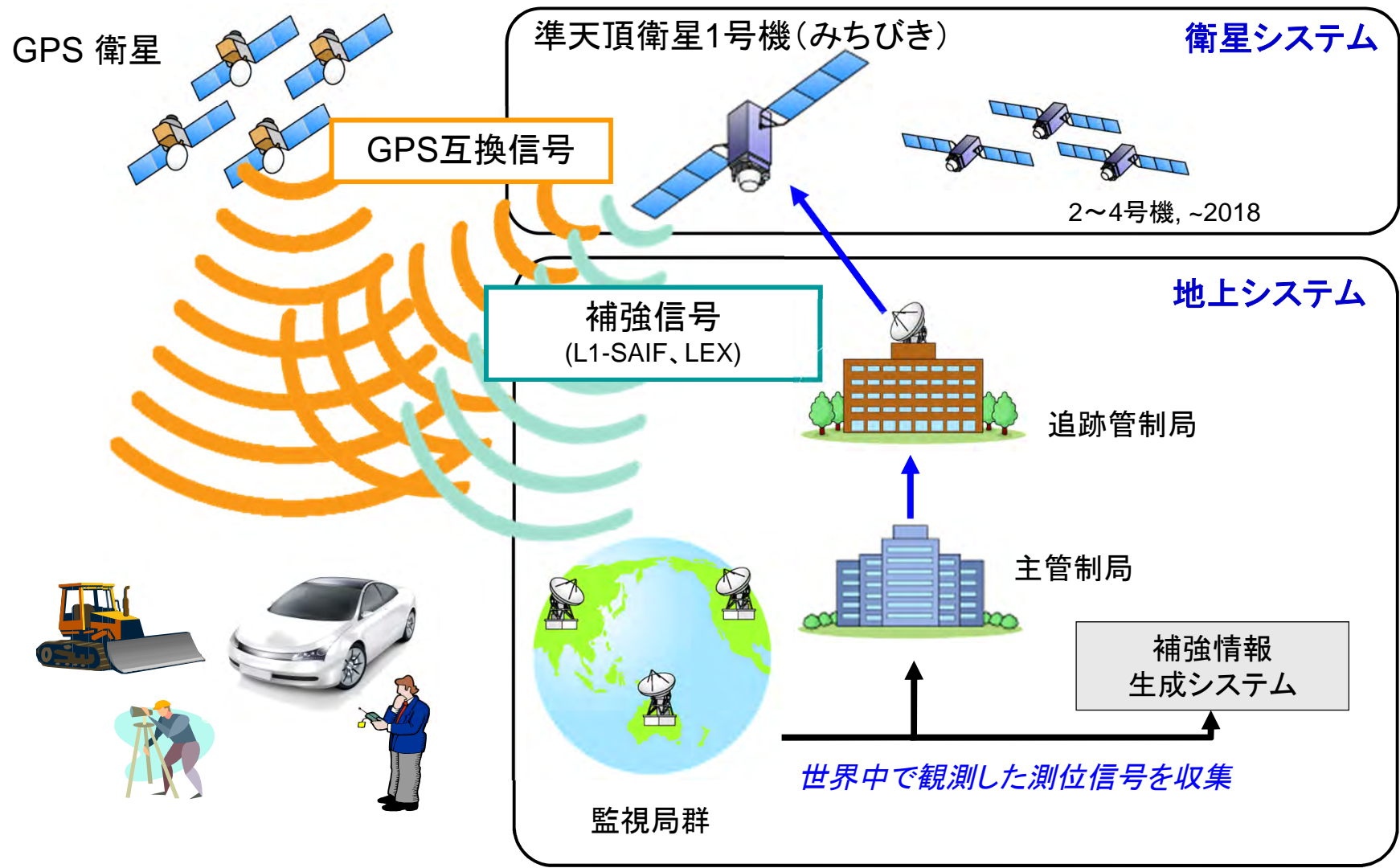


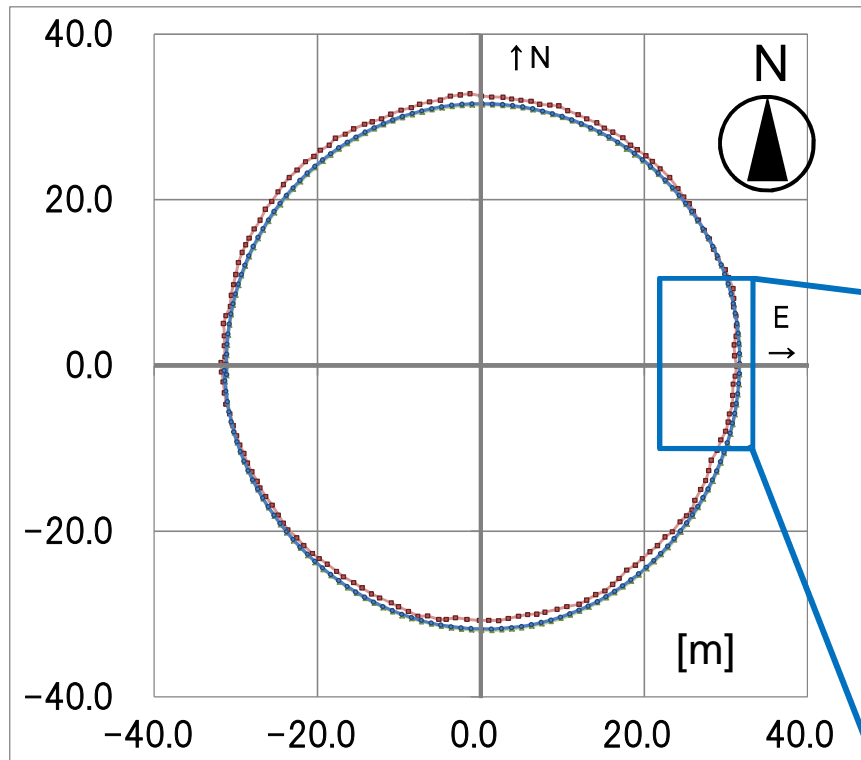
準天頂衛星システム QZSS: Quasi Zenith Satellite System



準天頂衛星の補強信号を活用し、最高で10 cm級の精密測位を実現

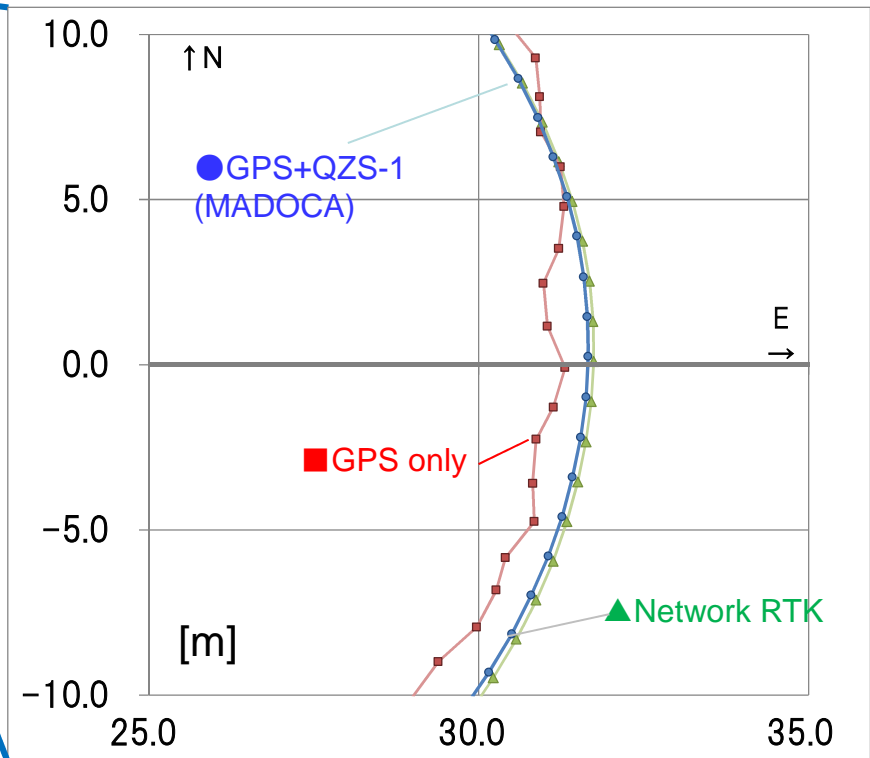
「情報提供:株式会社デンソー」

準天頂衛星システムの効果: Open Sky/走行状態



✓ 実験車両が半径30mの円を
50km/hで定常旋回し測位

- 基準: Network RTK
- 比較対象: 従来型GPSのみ
- 高精度測位: GPS+QZS-1(MADOCA)



「情報提供:株式会社デンソー」

米国で自動運転技術開発（DARPA）

2004年より2007年までに3回、米国は、国防関連の知見収集目的で、世界初の長距離無人自動車の競技DARPA(米国防高等研究計画局)グランドチャレンジ(後アーバンチャレンジ)を開催した。

場所は、閉鎖された空軍基地等を利用し、市街地を想定したコースで全長は100キロ程度。2007年の優勝賞金は、200万ドル。



スタンフォード大学とカーネギーメロン大学が優勝有力校で、日本や欧州のカーメーカの多くが研究資金を提供し、間接的に参加した。そして、関わった研究者の多くは、Googleに移籍して現在も研究を続けている。

上記背景等より、自動運転技術については、米国に研究が集中している。

米国を中心とした日欧の協力関係

